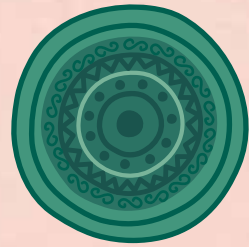


むきばんだ女子考古部員のつぶやき

むきばんだ女子考古部



見て触れて、じっくり楽しく考古学に浸る、そんな大人の好奇心をくすぐる体験ができ、豊かな人生にするための奥行きを持てます!

発掘体験は、結局なんにも出なかったけど、もしかしたら…と思うとワクワクが止まらなかったです。



土器で炊いたご飯があんなに美味しいとは知りませんでした。むきばんだに住んでいた人たちは、旬の美味しいものを食べていたんだろうなあ…。

小2の我が娘も、「妻木晩田に行こう」と言う。「いーい」と喜びます。リアルオーガニックな世界でもあるので、ナチュラル女子も楽しいはずですよ!

部員さんのワクワクに触発されて興味なかったことも知るので、自分の中に種をもらった感覚でした。



生活の中に必要なものは、自分たちの手で作れることを実際体験させてもらっているのので、ものを生み出す発想力を持って、いざというときの生き抜く力にしたいです。

入部前は、難しそうだし、ついていけないんじゃないかと不安でした…。好奇心と興味だけで飛び込んでみましたが、毎回初めて出会う知識や体験にワクワクしていました。

遺跡ツアーは、マネージャーの現地解説あり、マニアの皆さんの考察ありでロマンが広がり、とても贅沢で最高に楽しかったです。

物を一つ作るにも、相当な時間と根気があることを体験しました。時間をかけて得た物、出来た物はそうは簡単に捨てられない。大事にしていきたいです。

竪穴住居での女子会は、古代の生活に思いをはせながら楽しく調理、抜群の雰囲気でおいしく食事。毎回、たまりません。

草木染で貫頭衣づくり・・・合歓木のレモンイエローがとにかく綺麗でした!



古の人々の暮らしを体験しながら、思いを馳せることは、自分の価値観や視野を広げることにつながると思います。ぜひ一緒に「考古学」を楽しみましょう!

むきばんだ史跡公園

中国地方最高峰「大山」のふもとに位置する、国内最大級の弥生時代の集落跡を公開しているフィールドミュージアム。復元した竪穴住居や高床倉庫で再現した弥生のムラや、四隅が突き出した独特な形の四隅突出型墳丘墓、本物の竪穴住居跡を発掘された状態で展示した「遺構展示館」を見ることができ、ガイドによる無料案内もある。広い園内では豊かな自然も散策して楽しめ、ビューポイントからの日本海を臨む大パノラマは絶景である。展示・体験施設「弥生の館むきばんだ」では、火おこしや勾玉づくりなどの弥生体験が、「はっくつ体感広場」では発掘体験もでき、子どもから大人まで楽しめる。

開園時間 | 9:00 ~ 17:00

(入場はいずれも閉園 30 分前まで)

住所 | 鳥取県西伯郡大山町妻木 1115-4

お休み | 第4月曜(祝休日の場合は翌日)、年末年始

料金 | 無料(一部体験有料)

お問合せ | 鳥取県立むきばんだ史跡公園

mukibanda@pref.tottori.lg.jp

0859-37-4000

ホームページ | <https://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda>



第3期 2019-2020

mukibanda
girls' archaeological club

鳥取県立むきばんだ史跡公園

- 01 むきばんだ女子考古部とは？
- 02 マネージャーからひとこと
- 03 5月 オリエンテーション・考古学入門①
- 04 6月 むきばんだ遺跡フィールドワーク
- 05 7月 弥生時代の文様・スタンプづくり
- 06 8月 草木染め・スタンプ施文
- 07 9月 発掘体験・骨卜体験
- 08 10月 史跡見学ツアー
- 09 11月 竪穴住居で♀女子会
- 10 12月 埴輪づくり
- 11 1月 鉄器・ガラス玉づくり
- 12 2月 骨角器づくり
- 13 番外編 部員紹介 その1、その2
- 14 むきばんだ女子考古部3期生
- 15 部員のつぶやき



考古学に心も身も捧げる頼りになるマネージャーからひとこと

むきばんだ女子考古部マネージャー

浜本利幸

「考古学に浸る！」「五感を呼び覚ます！」をテーマにスタートした第三期活動。OGの方は新たな発見や学びがあり、初めて参加された方は他の部員さんの考古愛と熱意に触れてもっと学びたいという思いを強くされた一年だったのではないのでしょうか。同好の仲間とワイワイ楽しみながら学ぶことで理解も深まりますし、刺激も受けたことと思います。ひとまず第三期の活動は終わりましたが「考古学に浸る」「五感を呼び覚ます」ことはこれからもぜひ続けていってください。

むきばんだ女子考古部マネージャー

高尾浩司

3期生のテーマは、「考古学に浸る」「五感を呼び覚ます」でした。そのテーマに沿って、みなさんは座学、フィールドワーク、ものづくりに楽しく真剣に取り組まれました。女子的な視点や湧き出るアイデアはいつもマネージャーを驚かせ、今年も一緒に楽しませてくれました。特に、ものづくりに対するこだわりは半端なく、毎回「さすが！すばらしい！」と連呼していた気がします。女子的探究心を忘れずに、これからも考古学に浸ってください!!

むきばんだ女子考古部とは？

むきばんだ史跡公園が、近年増えつつある考古好き女子のために 2017年に発足させた部活プロジェクト。部員自ら活動の内容を決め、史跡公園職員の指導のもと、楽しみながら実践していく部活動です。専門的知識に基づいた助言やものづくり体験の技術指導など、史跡公園職員がマネージャーとしてサポートしますので初心者でも楽しめます。



第一期の活動内容

はじめての部活動にわくわくしながら、さまざまな取り組みをしました。マニアから初心者まで、毎回、女子ならではの何事も楽しむ好奇心全開の楽しい活動となりました♪

- ▶ 考古学ってなに？勉強会
- ▶ 出雲弥生遺跡めぐり
- ▶ 弥生土器で煮炊&竪穴住居古代ランチ
メニュー：鹿肉入りどんぐりすいとん、炊飯
- ▶ 貫頭衣づくり
- ▶ 組紐づくり
- ▶ スタンプ文づくり

第二期の活動内容

二期目の部員にはじめての部員も加わり、興味のある分野がより多様に、そしてマニアックになり、新しいことを学ぶ意欲が相乗効果で高まりを見せた第二期目。ますます楽しくなってきました。

- ▶ むきばんだ遺跡フィールド・ワーク
- ▶ 鳥取県東部史跡ツアー
- ▶ 弥生土器で煮炊&竪穴住居古代ランチ
メニュー：潮汁、炊飯、猪肉溶岩焼き
- ▶ 石器づくり
- ▶ ガラス玉・編布づくり
- ▶ 弥生土器・土笛づくり 他



オリエンテーション

むぎばんだ女子考古部もいよいよ第三期生。マネージャーも慣れてきたのか、リラクスマードで、まずは自己紹介からスタート。

二期連続、三期連続で部活動に参加する先輩たちに、新たに入学したフレッシュ部員たちが加わって、今年一年の活動について話し合ったり、部長、副部長を選出、各担当も決めました。

考古学入門

高尾マネージャーによる「考古学ってなに？」入門を座学で学び、考古学の基礎知識を身につけました。

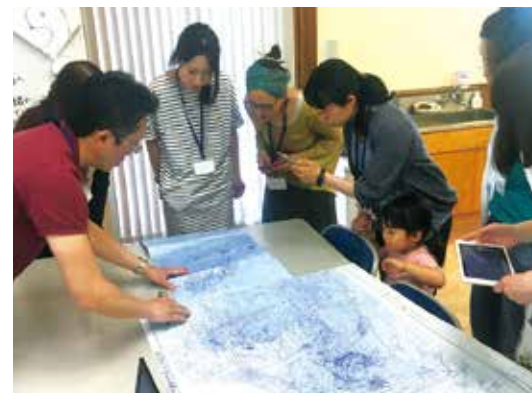
高尾マネージャーの弥生土器愛溢れる説明に女子考古部の醍醐味を感じました。

4月 オリエンテーション 考古学入門

午後からは、展示室に場所を移して、浜本マネージャーによる古代の暮らし解説。一歩踏み込んだ内容に一気に弥生時代へタイムスリップ。



今後の活動についての話し合いでは、いろいろなアイデアが出て、楽しい活動案でいっぱいになりました。



初めてみる「遺跡地図」を前にして興味津々の部員たち。あちこちで「へえ～」というリアクションが。

5月 フィールドワーク

フィールドワーク

ホームグラウンドとなる妻木晩田遺跡は、1世紀後半から3世紀前半にかけての建物跡が90棟以上も発掘されました。

東西2km、南北1.7kmにも及ぶ弥生時代の遺跡としては国内最大級の広さを持ちます。

専門家と一緒に歩く遺跡は、知らないことがあちこちに散りばめられ、何度も来たことのある場所なのに、とても新鮮な気持ちでまわることができました。

実際に遺跡内を歩いてみることで、古代の人々の暮らしがより身近に感じることができるとなりました。



マネージャーを先頭に、まずは竪穴住居建築に使われた部材の一つである栗の木を観察しつつ、洞ノ原東丘陵へ。



妻木晩田遺跡のシンボルにもなっている洞ノ原西丘陵の高床倉庫を見学しながら説明を聞く。



洞ノ原東丘陵の骨格復元住居で、竪穴住居の上部構造の学習。



洞ノ原西丘陵土屋根竪穴住居。排水のため、建物を囲む周堤をトンネル上に掘り抜いた暗渠構造を観察。

ぐるっと戻って、ちょっとマイナーな妻木新山地区の弥生の森を散策したあと、丘の上にある「遺構展示館」を見学。



妻木に新山地区の竪穴住居跡と考えられる窪地。住居が復元されていない場所にもたくさんの住居跡があることを改めて知る部員たち。



「遺構展示館」では、保存された本物の竪穴住居跡を見ることができ、日本海を臨む大パノラマと妻木山地区の復元された弥生のムラが一望できる景色は圧巻です。

隠れ高尾マネを探せ！

ゴール

7月 弥生の文様 スタンプづくり



完成スタンプ文

弥生時代の文様

まずは、高尾マネージャーの座学から始めました。

木のヘラやクシ、二枚貝を使って描かれた、波状文や格子文、平行沈線文、渦巻きなど、土器や銅鐸に施されたシンプルだけど洗練された文様の数々。弥生の人々のデザインセンスとお洒落さに改めて感動する部員たち。

さらに動物や人型を模した文様なども取り入れながら、それぞれに個性的なオリジナルスタンプを消しゴムを使って作りしました。担当部員が、古代の黥面文身（顔と体に施す刺青）や古代の化粧についてもかなりマニアックに調べてシェアしてくれたのもとても興味深かったです。

日月 草木染め スタンプ施文



完成スタンプ文と絞り

草木染め

敷地内に植えられているネムノキと部員の新田さんが用意してくれたビワの葉の煮出し汁で草木染め。ビーズや割り箸で絞りも挑戦。爽やかな天気でもともよく乾き、色鮮やかな2色の布が青空によく映えました。



経験者がスタンプづくりのコツを教えたり、デザインのアイデアを共有し合いながら、本気で楽しみながらものづくりに取り組むのが考古女子流。



トレーシングペーパーから写した下書きを丁寧に切り取っていきます。大作に挑戦する部員も！



できあがったスタンプたち。青谷上寺地遺跡で見つからない文様も。

ネムノキの葉



染色材料の1つ「ネムノキ」の葉を煮詰めます。しっかり煮込んで色を出します。



煮出し汁に浸した後、ミョウバンを溶かした媒染液に浸します。色がパッと変わる瞬間！



布がしっかり染まったら、水で濯いで外に干します。いい天気なので乾燥も早いです。

ビワの葉



担当部員の新田さんが準備してくれた染色材料「ビワ」の葉の煮出し汁で染色。



布を揉みながら隔々まで煮出し汁を染み込ませ、しばらく浸していきます。



それぞれの布で染まり具合が異なり、グラデーションが美しいです。

GO!GO! NAKAI

おしゃれ番長NAKAIの 今日も全力!!

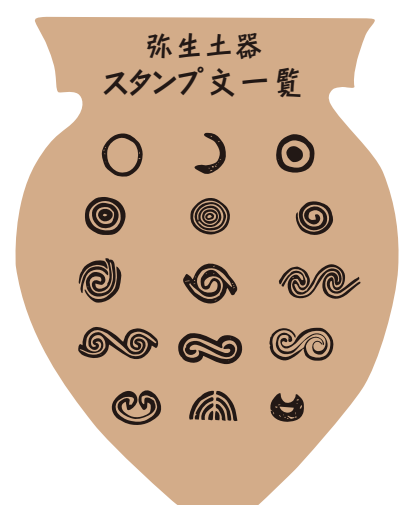
いつでもどこでも好きなものには100パーセント突き進む、担当部員の中居さん。今回は、古代の文様がテーマだったのに、思いっきり掘り下げたのは、黥面文身と古代の化粧。マネも唾然!さすがお洒落番長っす!!

イラスト:中居裕子

古事記にもでてくる 大國主の 鯨利目

ちょっとエジプトっぽい

土偶の模様も 刺青を表現したもの だったかも...?



クセになるかわいい弥生の文様に萌え!一番下の3つは、青谷上寺地遺跡のみで発見されている珍しいスタンプ文です。

スタンプ施文

7月の部活動でつくったスタンプを使って、午前中に草木染めをして乾いた布に布用のペイントでペタペタとスタンプ施文。うまく色が着くかドキドキしながら思い切りよく!



ペイントの付け方のコツを新田さんから習う部員たち。



思い思いの草木染めとスタンプ施文で貫頭衣や巾着、ショールなどを作りました。

1世紀
2世紀
3世紀
4世紀
5世紀
6世紀
7世紀

弥生時代後期
古墳時代前期
古墳時代中期
古墳時代後期
古墳時代終末期



10月 史跡見学ツアー in 安来市

西谷3号墳
塩津山10号墓
仲仙寺9号墓・10号墓・8号墓

宮山IV号墓 塩津山6号墓

突出部に注目！

仲仙寺9号墓の埋葬施設を説明する高尾マネ。木で作られた棺が置かれていたとのこと。高さ9m。

大成古墳
造山1号墳

造山3号墳
塩津山1号墳

未舗装の細道を歩いてたどり着く。

隣接して復元された竪穴住跡。

塩津山1号墳(古墳時代前期)遠景。前期古墳ですが、平面形や貼石などに四隅突出型墳丘墓の伝統を残している。

土器にドキドキ。壺、甕、鼓型器台、低脚坏など、在地で一般的に見られる土器たち。

宮山1号墳 宮山2号墳
造山2号墳

前方後方墳、造山2号墳に上る部員。この後、古墳時代前期(4世紀)の方墳、造山3号墳も見学した。

古墳は、長い長い階段を上った先。

造山公園の展望台で中海をバックに記念撮影。

史跡見学ツアー

今年は、島根県安来市の古代出雲王陵の丘周辺にある古墳や墳墓を中心に安来の史跡見学満喫ツアー。みんなでバスに乗って、専門家の解説を聞きながら巡る贅沢な大人の遠足となりました。

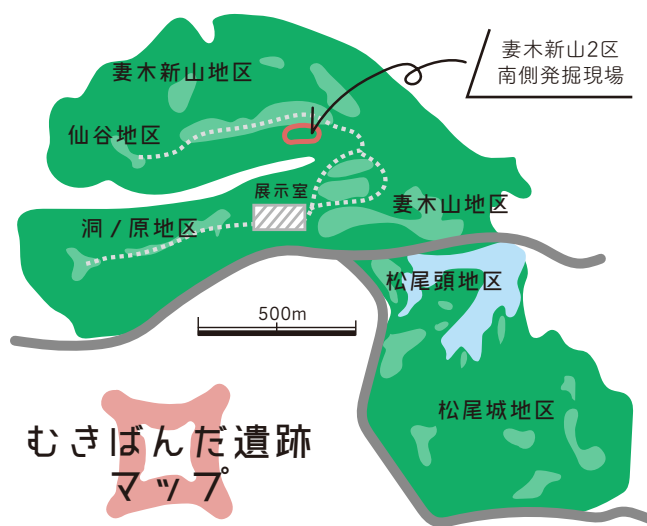
じかんわり

むきばんだ史跡公園	<集合> 9:30発
↓	↓ 部長によるお楽しみ会
古代の出雲王陵の丘 仲仙寺公園	10:15着
↓	↓ 仲仙寺墳墓群～宮山墳墓群 ～塩津山墳墓群～造山墳墓群
古代出雲王陵の丘 造山公園	11:50発
↓	↓ [昼食] 安来グランパ(和鋼博物館内)
和鋼博物館見学	13:10始 14:15終
↓	↓
むきばんだ史跡公園	15:30着 <解散>

和鋼博物館

日本の伝統的製鉄法「たたら」に関する総合博物館。

島根県安来市安来町1058
☎ 0854-23-2500
利用時間：9:00～17:00
(最終入館は16:30まで)
休館日：水曜日(祝日の場合は翌日)
入館料：一般310円
見学所要時間：40～60分



むきばんだ遺跡マップ



遺構発掘体験

考古好きにとっては堪らない発掘体験。残暑が厳しい灼熱の天気でしたが、発掘現場の妻木新山2区で高尾マネ指導の元にながら出るか、ドキドキ、ワクワクの発掘体験となりました。部員が発掘した場所の下から、後日、弥生時代後期の住居跡が見つかったそうです！

9月 発掘体験 骨ト体験

遺構ってなに？
地中に残されている住居跡や基礎、柱穴、炊事場跡など。

古代の占い 骨ト体験

古くから中国などでは、亀甲や獣骨などを焼いて、その割れ目の形で吉凶を占っていました。日本では弥生時代に行われた古代のト占。イノシシやシカの肩甲骨がト骨として使われることが多かったようです。



はにわとは？

古墳時代(3世紀中頃～7世紀)に、古墳外面に立て並べられた素焼きの土器製品のことです。

乾燥させたあと、窯で焼き1月にできあがりました♪



12月
埴輪づくり
WE LOVE HANIWA!!!

はにわ

ココがステキ

埴輪を研究することで、服装や道具など当時の風俗を想像できるし、地域性や交流の様子まで知る手がかりにもなる貴重な資料だったします。絶妙なかわいさが堪らない♪

古墳時代を彩る埴輪。円筒のものから、人物や動物、家や道具を模ったものまでそのバラエティの豊さとかか笑える愛らしさに心を鷲掴みにされる部員たち。難しいかもとマネージャーが用意したオーソドックスな埴輪には飽き足らず、それぞれが作りたものを一心不乱に作り上げました(笑)

埴輪づくり



11月

竪穴住居
de 女子会

毎年恒例の弥生土器を使ったごはんづくり。準備ができたら、妻木山地区の弥生のムラに移動して、火起こしから挑戦して、炊飯と猪鍋をつくりました。竪穴住居の中でみんなで食べるランチは、まるで弥生時代にタイムスリップしたかの様。弥生土器で炊くごはんのおいしさとこの上なし。



考古女子的 古代食 レシピ

お品書き

むかごごはん

いのしし鍋

しとぎ

しとぎ

白玉粉 100g
茹であずき 25g
きなこ 大きじ2
砂糖 大きじ1

炊飯

米 1合 に対し
水 200cc



「湯取り法」では、水加減は適当でも大丈夫！

【案】しとぎ

神前に備える餅の古名。水に浸した生米をつき砕いて様々な形にした餅。弥生時代には、赤米をついて粉にしてからつくったと考えられている。



つやつやにおいしく炊けました！古代米でほんのり色づくごはん。



おきび熾火の上に斜めに置き、回しながら側面を十分に加熱し、蒸します。



「湯取り法」で炊飯なので、沸騰後、火からおろして湯を切ります。



即席ブロック窯で炊飯開始。15分で沸騰して吹きこぼれてきました。



今回の女子会メニュー。豪華なランチとなりました！



メニューが完成したら、竪穴住居の中でランチタイム♪ごはんもおいしく、雰囲気も最高でした。



準備ができたら弥生土器をかかえて、いぎ、弥生のムラへ～。ワクワクドキドキ。



1月 ガラス玉づくり 鉄器づくり

ガラス玉づくり
 女子の心をくすぐる
 古代のお洒落アイテム
 といえば、ガラス玉。
 二年目となった今回は、
 前回の経験を活か
 しながら、さらなる挑
 戦。大きな玉や美しい
 丸をつくるのは熟練の
 技が必要です。



大玉に挑戦中！ガラス玉づくりは、根気が必要。急いでことは仕損じるので、じっくりと。



ガラス棒を熱し、溶けてきたら鉄棒にくるくる回しながら、まきつける。



鉄器づくり

五寸釘を使った鉄器づくりに挑
 戦。炭火で熱してハンマーや石で鍛
 打し、小さなナイフを作りました。
 真っ赤に焼けた鉄は、以外と簡単
 に叩いて形を変えることはできま
 すが、なかなか思った形にはなら
 ず苦戦。にもかかわらず、妙なもの
 づくり魂が掻き立てられる鍛冶体験
 となりました♪



専門分野の高尾マネ。鉄器愛満タなレクチャー！鍛冶作業の鍛打で出る宝物の鉄粉を持参＆疲労。そのマニアックさに一同湧きました(笑)



ガイダンス展示中の鉄器コレクション！



2月 骨角器づくり

骨角器づくり
 現代の暮らしでは馴染みのない骨角器。部員にとっても、まったくの未知の領域。
 こういう経験ができるのもむきばんだ女子考古部ならでは。
 旧石器時代から弥生時代まで、加工しやすく手に入りやすい動物の骨や角が、漁ろう具や装飾具などに盛んに使われていました。
 古代の暮らしを肌で感じるよい機会となりました。



浜本マネも本気で参戦。勾玉型にしよう鹿の角に悪戦苦闘。ひたすら砥石で削る・磨く！



想像以上に力と根気のいるそれぞれの工程にみんな必死。ひたすら向かって手を動かすのみ！



まずは、浜本マネの座学から。骨角器の種類や製作技法等についてお勉強。



四苦八苦して成形作業が終わったら線刻等を施して仕上げ！かた〜い！



うまく切断できたら成形作業。やすりでゴリゴリ。必要なのは根気のみ！



鹿角の側面を一周する溝がつけられたら、鑿でガツンと一撃して打割！



鹿角の切断から。まず糸鋸で溝をつけます。ギコギコ。

できたー！



お洒落のためなら!!

次の日、筋肉痛になるぐらいハードだったけど、やりがいもあって面白かった！文明の道具を使っても難しいのに、どうやってあんな繊細な物を作っていたの??と、古代人の技術の高さに感銘も受けました！どうやって作っていたのかタイムマシンに乗って覗いてみた〜い！



- まずは、「ふいご」を使って火起こし。温度をどんどん上げていきます。
- 十分に炉の温度が上がったら、炭の中に五寸釘を入れて熱する。
- 真っ赤になった五寸釘を叩く。熱する→叩くを満足のいく形になるまで、ひたすら繰り返す。

むきばんだ 女子考古部 第3期生

mukibanda girls' archaeological club
第3期は、むきばんだ史跡公園の全面バックアップなしにはできないことをますます食欲に、深く、濃く学ことができました。五感を使って、自分たちの中に眠る古代からの叡智を呼び覚ます、そんな部活動になりました♪



WE LOVE MUKIBANDA

編集後記

知れば知るほどおもしろい考古学。古代の人々は私たちの先祖であり、私たちはその代々受け継がれ、蓄積された知恵を受け継ぐものというのを、この部活を通して実感するばかり。土も鉄も骨も角も、全部宝物。そして、三期目になる今尚、むきばんだ史跡公園のポテンシャルは計り知れず、その専門性と包容力に驚嘆するとともに、毎回ありがたく甘えさせてもらっています。振り返りながら、考古学への愛と熱気と狂気に満ちたみなさんと一緒に学べる喜びを噛み締めています。

デザイン・イラスト・編集
むきばんだ女子考古部員 大下志穂

お・ま・け

～仙谷8号墓被葬者擬似体験～

むきばんだ史跡公園の夏季企画展の目玉！仙谷8号墓で見つかった石棺の実物大写真に横たわって、埋葬者の気持ちになってみよ的な擬似体験ができるコーナー。妙に落ち着くのはなぜ？？



馬淵さんがゆくよ！

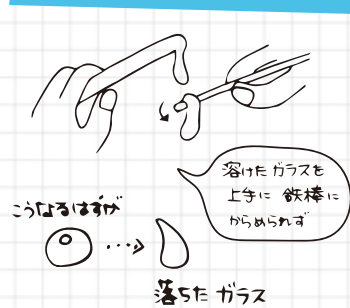
一年間の部活動をふり返って

毎回上手に出来ないけど、みんなと一緒に活動するのが楽しいです。このまま、弥生時代に遊びに行っても面白そう。当時はどんな風に会話してたでしょうね。

部員紹介その1

イラスト/文：馬淵由香里

ガラス王づくり

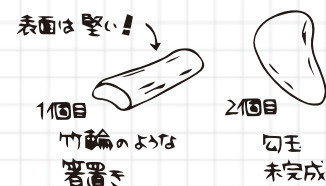


こころはすが
-方ぞ ↓

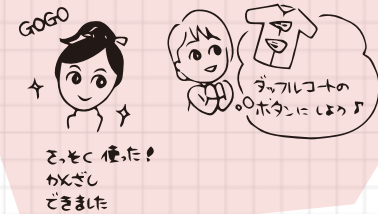
ガラス王から
1ランクUP
四王も作れた
部員さん



骨角器づくり



↓ -方ぞ



常連むきばんだ女子考古部員

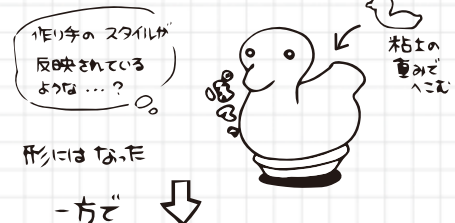
コーナー担当

むきばんだ女子考古部員
馬淵由香里

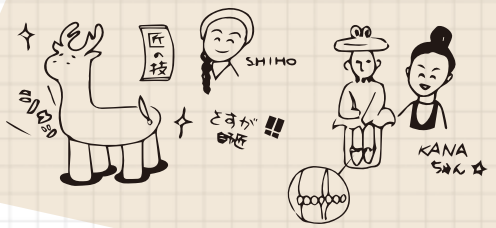


埴輪づくり

道具が、使いこなせないなら
素手で勝負! がんばる!



↓ -方ぞ



部員紹介その2

コーナー担当

むきばんだ女子考古部員
藪田佳奈

どこから見ても弥生顔 やぶちゃんの考古女子への道

もともと考古学に詳しいわけでもなかったですが、誘われるがまま入部し、気づいたら今期で3期目！こんなにもはまってしまったのは...もしやこの生まれ持った顔のせいかもしれない！

はなや!

その1 ドッキー



始まりは考古学イベントで縄文土器片をイメージしてつくったクッキー。その名も「ドッキー」。※縄目模様は紙を擦ってつきました!

その2 そっくりさん



旅で訪れた東京国立博物館は、なんと私のそっくりさんだらけ!! 埴輪の大きさにもびっくり! ※「盛装の女子」と私@東京国立博物館。

その3 自画像制作



今期の活動で、東京国立博物館で運命を感じた埴輪「腰かける巫女」を制作! 本物(高さ68.5cm)のミニチュア版を必死に再現しました!

